

# 2012 年度 心コミ大賞 テキスト作品部門 審査結果並びに講評

<審査員> 大島、デビッドソン、田辺、片岡、谷

## 【テキスト作品部門】

心コミ大賞 : Oshima Award 該当無し

審査員特別賞	「洗われる日」 「イマジン」	水谷しおり 上田菜穂子
--------	-------------------	----------------

## 講評:

今年是在学生から2件の応募がありました。応募件数は少なかったものの、いずれも力のこもった作品で、審査委員一同感心しながら読ませていただきました。

応募作に共通しているのは、「いじめ」を取り扱っている点です。「洗われる日」は、いじめられている「僕」が転校していくまでを描いています。「イマジン」では一人称で語られる3つの短編のテーマの1つに「いじめ」が取り上げられています（他の2つは「差別」「生と死」）。この問題への若い世代の関心の高さが感じられます。

一方で、どちらの作品もスケールが小さいという意見もありました。筆力が高いだけに、創作という利点を活かして、現実社会からかけ離れた設定によって現実社会を照射するような挑戦的な作品も読んでみたかったです。今後に大いに期待したいとの思いを込め、どちらの作品にも「審査員特別賞」を授与することとしました。

水谷さんは2年生の大賞に続き、2度目の受賞です。2人とも4年生。卒業後にどんなものを書いていってくれるか、とても楽しみです。

心コミ大賞 : Oshima Award 該当無し

審査員特別賞	「洗われる日」	水谷しおり
--------	---------	-------

審査員特別賞の「洗われる日」は、いじめられている「僕」が転校していくまでを描いています。タイトルのメタファーがいい、母親の微妙な心理が伝わってくる、印象的な文章がある、文章能力が高い、といった意見が出ました。ぬいぐるみの犬の役割については評価が分かれました。

審査員特別賞	「イマジン」	上田菜穂子
--------	--------	-------

審査員特別賞の「イマジン」では、一人称で語られる3つの短編のテーマの1つに「いじめ」が取り上げられています（他の2つは「差別」「生と死」）。テーマの組み合わせが面白い、三番目の「生と死」をもっと掘り下げてほしかった、タイトルの理由を聞いてみたい、といった意見がでました。